

## 【市長への手紙】 令和3年12月受付分

※手紙及び回答の要旨（一部）を掲載しています。

### 「移動式宿泊施設」

意見	<p>茨城県にある、災害時には移動して避難所として利用される移動式宿泊施設に宿泊しました。</p> <p>密集した避難所は一時的なものとしては利用できますが、長期の被災者の居住確保には、移動式宿泊施設が最適だと思いました。</p> <p>台風で千葉県も被害に遭いましたし、君津市もトイレトレーラーを配備していて、防災には力を入れているかと思しますので、君津市でも考えてみていいのではと思いました。</p>
回答	<p>本市では、甚大な被害が発生した令和元年房総半島台風等の災害を踏まえ、防災力の強化と災害に強いまちづくりを推進しています。</p> <p>こうした中、令和2年9月に、災害時における移動式宿泊施設の活用について、株式会社デベロップと協定を締結し、災害発生時、または災害が発生するおそれがある場合、必要に応じて、コンテナハウスを避難施設や宿泊施設として設置できる体制を整えました。</p> <p>このような移動式宿泊施設は、緊急的に施設を確保する必要がある場合や長期避難時に活用できると考えておりますので、災害時には仮設住宅の建設や民間施設の借上げ等と併せて、状況により速やかな対応を図るなど、引き続き防災力の向上に努めてまいります。</p>
	担当課 総務部 危機管理課 0439-56-1290

### 「骨髄バンクドナー登録説明員」

意見	<p>骨髄バンクドナー登録説明員は、献血の際に、ドナー登録の呼びかけや内容の説明をするボランティアですが、君津市の周辺には説明員が一人もいないという状況です。</p> <p>市の広報やホームページなどで、説明員の募集を呼び掛けていただけないでしょうか？</p>
回答	<p>骨髄ドナー登録説明員の活動については、骨髄移植等の理解を深め、ドナー登録を円滑に進めるために、とても重要であると考えております。</p> <p>本市といたしましても、これまでの骨髄ドナー登録の周知や普及の取り組みと併せ、説明員活動についても改めて広報誌等で周知や募集を行ってまいります。</p>
	担当課 保健福祉部 健康づくり課 0439-57-2230